



2007.11

No. 166

MONTHLY

れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 佐藤 富夫
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL(011)210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

高柳新執行部が船出

連合北海道第20回定期大会

「すべての働く者の連帯で、共に働き暮らす社会をつくろう」をスローガンに連合北海道第20回定期大会が、10月30、31日の日程で開催された。大会には、全道各地から代議員、特別代議員、傍聴など約300名が出席し、1号議案の「2008～2009年度運動方針」など全議案を執行部提案通り承認された。2日目には役員改選も行われ、新たに高柳会長、村田事務局長の新執行部を選出し、新しい運動をスタートさせた。



運動方針等の議案に対し、9産別、1地協の代議員・特別代議員から意見が出されたが、非正規労働センターの設置、最低賃金の大幅引き上げ、格差是正などの取り組みを進める運動方針が決定した。

また、高柳新会長は就任挨拶で「組織拡大と社会的に影響のある労働運動の推進」「地域医療の充実など、くらしの安心を図るための地域政策の具体化」「衆議院選挙の勝利」を掲げ、連合北海道の運動をさらに強力に進めていくとした。

最後に、「全ての働く者の連帯に向け、連合北海道はその先頭に立ち、誰からも信頼される頼りがいのある存在になる」「非正規労働センターを立ち上げ、パート・派遣など非正規労働者の処遇改善に取り組む」「劣化する社会の軌道修正を図るため、社会の不条理、不公正と徹底して戦う姿勢をつらぬく」「ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた働き方の改革を進め、労働分配率の改善や均等待遇をはじめとする公正なワークルールを確立し、『労働を中心とした福祉型社会』を構築する」とした大会宣言を全会一致で採択し、第20回定期大会を終了した。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2007_1031_taikai20.html



2008～9年度(第10期)連合北海道役員候補者

会長	高柳 薫 (自治労 / 新・専従)
会長代行	中山 和則 (北教組 / 再)
副会長	工藤 和男 (情報労連 / 再)
	佐藤 泰光 (運輸労連 / 再)
	菅原 登 (基幹労連 / 再)
	藤井 和則 (電力総連 / 再)
	松本 容司 (JPU / 再)
	森 澄男 (UIゼンセン同盟 / 再)
	小澤 修二 (国公連合 / 新)
	三浦 正道 (自治労 / 新)
事務局長	村田 仁 (基幹労連 / 新・専従)

副事務局長	高瀬 典幸 (北教組 / 新・専従)
	武田 伸一 (電力総連 / 新・専従)
執行委員	松浦 俊一 (事務局 / 再・専従)
	上野 由照 (事務局 / 再・専従)
	中村 誠吾 (自治労 / 新・専従)
(女性枠)	黒瀬 千秋 (情報労連 / 再)
(女性枠)	越智 朱美 (自治労 / 新)
(青年枠)	渡邊 修吾 (自治労 / 新)
会計監査	荒木 英篤 (紙パ連合 / 再)
	中村 善幸 (サービス・流通連合 / 再)
	古川 義雄 (交通労連 / 再)
	木暮 謙二 (電機連合 / 再)
	高倉 司 (国公連合 / 新)

小沢一郎民主党代表が来道

連合北海道に総選挙での支援を要請

10月23日、解散総選挙で政権交代に政治生命をかける民主党・小沢一郎代表が全国行脚を再スタートし、連合北海道政治センター幹事会に出席した。

会議で、渡部俊弘会長は、政権獲りをかけた次の戦いに向けて地方行脚の再スタートの最初に北海道を選んで頂いたことを歓迎すると述べ、「先の参議院で政権交代の下地はできた。この先にある解散総選挙で政権交代を何としても実現し、政治を変えない限りは、働くこと、生活することの今日の劣化状況を変えることはできない。勝てば、労働を中心とした福祉社会の入口を開くことで、負ければ、労働者は労働ビックバンで吹っ飛ばされて、この先、10年、15年、ほぞ(果実のへた)を噛む暮らしが続く。小沢代表は政治生命をかけて闘っている。連合北海道も民主党と一緒に何としても政権を取る覚悟でしっかり闘おう」と挨拶した。

挨拶に立った小沢代表は「先の総選挙で連合の皆さんに大変お世話になり感謝する。参議院で過半数を野党に与えた国民の皆さんは、政治がどう変わるか?を見てい

る。民主党は、国民の皆さんに約束した農業、年金、子育てなどを法案化し、また、労働三法を何とか成立させようと頑張っている。最終的に民主党の

考えを実行していくためには、衆議院選挙で過半数獲得、政権交代が必要だ。総選挙は何時になるかはわからないが、常在戦場で、北海道では全員当選に向けて皆さんのお力添えをお願いしたい」と述べた。

その後、公務員の労働基本権問題、行政改革と独立行政法人化問題、高齢者医療制度問題などについての会場からの質問に小沢代表は丁寧に答え、民主党政権実現を訴えた。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2007_1024_seiji_center.html



10月19日から最低賃金は654円

全道各地で街頭宣伝実施

北海道の法定最低賃金が19日から654円に引き上げられたのに伴い、連合北海道は発効日にあわせ、全道一斉に街頭宣伝行動を展開した。



このうち、札幌では正午から中央区のパルコ前で、松浦組織労働局長らがマイクを握り、「今日から最低賃金は654円。654円未満では法律違反。自分の給与明細で確かめて」、「連合は生活できる最低賃金として1,000円に引き上げすべきと取り組んでいる」と呼びかけ、チラシとポケットティッシュを配布した。

今年の審議では「成長力底上げ戦略推進円卓会議」での合意や、審議会への諮問にあたる大臣コメントなど、政府自身が大幅な引き上げを認めざるを得ない状況にあったものの、10円の引き上げにとどまりました。札幌の生活保護基準を時間給にすると、まだ約700円の大きなひらきがあります。しかも、生活保護費は最低生活費。働く者の生活費はさらに上の額となる。

いま国内では、働いても働いても生活賃金が得られ

ない「ワーキング・プア」が800万人を超えたといわれています。国会では最低賃金法の改正が論議されていますが、この改正案は水準の大幅な引き上げが法の趣旨として盛り込まれ、罰金の大幅な引き上げによって、少なくとも最賃違反が根絶され、労働者のセーフティネットとなるものと成立が期待されている。

連合北海道は最賃を来年の最重要課題として位置づけ、道民世論の総意として北海道経済の回復に寄与するような地域最賃の大幅な引き上げを実現するために総力をあげることとしている。

なお、連合北海道では常時、労働相談を受けているが、今回の最低賃金の引き上げを含めて、11月2日と3日の二日間にわたって、道内14ヶ所で「07年秋季集中なんでも労働相談」を一斉に実施した。

<労働相談ダイヤル(常設)>

☎0120-154-052

☎0120-090-050

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2007_1019_saichin.html

第10回連合大会を開催

パートや派遣労働者の問題への対応強化を確認

「すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくる」をスローガンに第10回連合大会(10月11・12日・東京国際フォーラム)が開催された。高木剛会長は挨拶で「非正規雇用労働者の増加の流れは止まらず雇用形態の違いが所得の格差に連鎖し、格差は深刻化している。これは連合の責任の領域だ」と述べ、連合は「非正規労働センター」設置し、パートや派遣労働者の問題に対し運動を強化することを明らかにした。

また、労働三法案(最低賃金改正法案、労働契約法案、労働基準改正法案)については、民主党案、自民党案を調整して、今国会で成立させるための連合の考え方・見解を表明した。

大会では、経過および運動方針に対し、22名から発言があり、一般経過報告並びに運動方針、会計決算報告、予算などを提案通り承認し、第10期役員体制(会長;高木剛)を選出・承認した。

「佐藤富夫事務局長が発言」

(地方財政・医療制度・非正規雇用問題)

本部大会には連合北海道から渡部俊弘会長、佐藤富夫事務局長が特別代議員として参加した。そして、佐藤事

務局長は運動方針を補強する立場から以下の三点について発言。これに対し、古賀事務局長は前向きな考え方を表明した。

佐藤事務局長発言

1. 連合本部が昨年11月に設置した「財政再建プロジェクト」「地方分権プロジェクト」の報告書を評価した上で、報告書で示された課題・提言を、今後、どのように生かすのか。
2. 崩壊の一途をたどる地域医療の課題について、これを社会問題化する必要が有ることを指摘し、連合が全国化して運動を推進すべきと要望した。
3. 非正規雇用問題に対する取り組みに関して、社会問題化することが重要であり、「実効ある社会的キャンペーン」を本部に要望する。また、産別と地方連合が車の両輪の役割を果たして成果をあげることが出来るよう指導をお願いする。連合北海道においても「非正規労働センター」をスタートする。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2007_1012_honbutaikai_10.html

第3回植樹祭を実施

家族も参加し有意義に

10月14日の日曜日、第3回植樹祭が支笏湖周辺(苫小牧市丸山地区)で行われた。出発時は、曇天模様で小雨がぱらついたものの、植樹時には晴れ間が見える天候となった。

現地会場では、管理をしている胆振東部森林管理署の中村署長が「2004年の台風被害は、大変なものであった。現在においても被害があった場所の2割程しか植林整備ができていない。皆さんの活動に感謝する。環境問題との関係でも植林は重要である。実際の植樹体験は、大人ばかりか次世代を担う子どもたちにとって大変意義深いものがある」と述べた。続いて森林管理局指導普及課後藤課長及び坂田企画官によって、植樹の要領とカミネッコンの作成方法が説明された。



いものがある」と述べた。続いて森林管理局指導普及課後藤課長及び坂田企画官によって、植樹の要領とカミネッコンの作成方法が説明された。

参加者35名は、カミネッコン作りを森林管理署の指導のもと楽しく行い、300本の苗(ヤチダモ・ミズナラ・アカエゾマツ)をカミネッコンや直植えを行った。植樹後は、記念標柱の前で記念撮影を行い、一同で昼食(ジンギスカン)を支笏湖観光ホテルで取った後、帰路についた。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/monthly_new_2007_1014_shokuju.html



政策・制度改善と男女平等社会づくりへ 第18回女性委員会定期総会を開催

10月20日(土)自治労会館において、議長に電力総連平野沙知さんを選出し、連合北海道女性委員会第18回定期総会が開催された。

最初に連合北海道を代表し、北越男女平等局長が「第16回統一自治体選挙・第21回参議院選挙」連合北海道第6回男女平等参画アンケート調査の結果報告・連合北海道第3次男女平等参画推進計画」に関する総括等を行った。次に連帯する連合推薦議員の小林郁子さん、三宅由美子さん、篠田江里子さん、山口かずささんから挨拶を、須田靖子さんからメッセージをいただいた。

続いて議事に入り、黒瀬事務局長より一般経過報告と2007年度活動総括案、越智副委員長より2008年度活動方針案が提案され、満場一致で原案が承認された。その後、自治労・北教組・函館地区連合からとりくみ報告があり、

2008年度の役員体制を確認して終了した。

今後、承認された方針を基に、女性に関する政策・制度の改善と男女平等社会づくりを積極的に推進し、平和な社会実現の担い手となることを目的とした実践活動に取り組んでいくことが重要。



連合北海道女性委員会
第18回定期総会



11・12月の主な動き

平和in沖縄

6日(火)～9日(金)

第1回地方連合事務局長会議

13日(火) 13:30 / 総評会館

労働福祉対策特別委員会

13日(火) 15:30 / 京王プラザ

第1回組織拡大・強化小委員会

15日(木) 13:30 / 総評会館

ボランティア講座

17日(土) 10:30 / 当別町

青年委員会第11回ユースラリー

17日(土) 13:00 / ホテルユニオン

青年委員会第15回総会

18日(日) 10:15 / ホテルユニオン

第2回中央執行委員会

22日(木) 13:30 / ホテルラングウッド

第1回地方活動フォローアップ特別委員会

26日(月) 15:00 / 総評会館

常駐者会議

27日(火) 10:00 / 連合北海道会議室

第2回執行委員会

28日(水) 10:30 / 連合北海道会議室

イベントカレンダー



第1回地協事務局長会議

28日(水) 13:30 / 連合北海道会議室

非正規労働対策委員会

28日(水) 15:00 / センチュリーロイヤルホテル

【地協の定期総会】

日高地協定期総会	11月17日(土) 14:00 / 新日高公民館
渡島地協定期総会	11月18日(日) 13:30 / 函館国際ホテル
胆振地協定期総会	11月22日(木) 15:00 / 登別グランドホテル
檜山地協定期総会	12月1日(土) 10:00 / 江差地域振興センター
網走地協定期総会	12月1日(土) 10:00 / きたみらい
留萌地協定期総会	12月1日(土) 13:00 / 留萌総合福祉センター
宗谷地協定期総会	12月1日(土) 13:00 / 稚内労働会館
後志地協定期総会	12月1日(土) 13:30 / 倶知安労働福祉センター
釧路地協定期総会	12月2日(日) 13:00 / アクアアール
石狩地協定期総会	12月3日(月) 10:00 / KKR
空知地協定期総会	12月8日(土) 10:00 / 三井グリーンランドサンプラザ
上川地協定期総会	12月8日(土) 10:00 / 旭川トーヨーホテル

こんにちは 北海道医療生協 札幌緑愛病院です

■診療科目
内科、外科、整形外科
消化器科、循環器科、呼吸器科
心療内科・精神科
リハビリテーション科
※各種健康診断も行っております。

■診療時間
平日 9:00～17:00
土曜 9:00～12:00

■夜間診療(内科)
月曜・木曜 17:00～19:00

■休日
日曜・祝日
※急患は休日・深夜・時間外でも
当直医師により診療いたします。

ご質問・お問い合わせ等、お気軽にご相談下さい。
北海道医療生活協同組合 **札幌緑愛病院**

〒004-0861 札幌市清田区北野1条1丁目6-30

TEL 011-883-0121 FAX 011-883-7261

●ホームページ www.ryokuai.com ●Eメール info@ryokuai.com

10月1日より肝臓センターを開設しました

外来診療は
予約制

札幌緑愛病院では2007年10月より新たに「肝臓センター」を開設しました。肝臓内科の専門医を採用して日本肝臓学会の指導医及び専門医が3名体制になったことを契機に、マルチスライスCT、血管造影装置等の最新の検査機器も導入しました。



マルチスライスCT
(16列)



血管造影装置

専門外来はじめました!

「メタボリックシンドローム」外来

血糖や血圧、コレステロール・中性脂肪などが高くても気になるけれど、「薬には頼りたくない」「自分で注意しても改善できない」という方をサポートするための外来です。
*初回診察は木曜日で、2回目以降は「予約制」となります。

「睡眠時無呼吸症候群」外来

緑愛病院では、「睡眠時無呼吸症候群」の診断に不可欠な最新の終夜睡眠時ポリソグラフィ検査装置を導入しました。呼吸器科の本田哲史医師(呼吸器学会指導医)が担当します。
*呼吸器科での「予約制」診療となります。